

桃陵中だより

京都市立桃陵中学校 校長 浅井 晃

9月号 令和4年8月31日

学校教育目標

『自ら学ぶ 豊かな心をもつ
社会に貢献する 生徒を育む』

TSS & 伏見支部生徒会交流会 & 京都市生徒会サミット

7月28日、いきいき交流ルームにて、TSS (Toryo Summer Summit) が開催されました。始業式で報告があったように、今年の生徒会スローガンの“協挑 ～咲き誇れ桃陵生～”の下、学級目標や生徒会スローガンの達成・校則・学校祭のスローガンについて議論しました。活発な議論が展開されました。学校祭のスローガンは多数決により“ミラクルスーパー桃陵祭”になりました。みんな桃陵中に奇跡(ミラクル)を起しましょう!



8月5日に藤森中学校において、「伏見支部生徒会交流会」が開催され、本校からは2名が参加しました。学校ホームページで報告があったように、今年のテーマは“通いたくなる学校”です。各校から生徒会の取り組みを紹介し合ったり、日頃の生徒会活動のどのように工夫して、より活性化させているかなどを話し合ったりしました。どの学校も生徒会本部を中心に、熱心に取り組まれていて、桃陵中にとっても大いに参考にしましょう。

8月24日に京都市総合教育センターにおいて、京都市子ども未来会議「京都市生徒会サミット」が開催されました。2年間はオンライン開催でしたが、今年はハイブリッド開催で、各支部代表(本校からも1名参加)の対面での参加とすべての学校よりオンラインでの参加とを組み合わせる形式でした。“Team Kyotoプロジェクト‘22 ～学校の主役は一人一人の生徒だ～”をテーマに協議会で検討しました。アイスブレイキングでは稲田教育長も参加されて、和やかなムードで始まりました。“どうすれば、一人一人が主役になるか”“どうすれば、みんなが意見を出せるようになるか”“どうすれば、みんなが受け入れられていると感じるか”など、いろいろな立場に立って考えることにより、一人も取り残すことのない集団を作りたい、という気持ちがあふれる議論でした。今日がゴールではなく、この議論を各校に持って帰って、それぞれで深めていくこととなりました。本校でも生徒会本部を中心に考えて、一つ一つ実践していきましょう。

文化祭を成功させよう!

TSSで決まった学校祭スローガンの“ミラクルスーパー桃陵祭”の下、8月29日より合唱コンクールへ向けての合唱練習が本格的に始まりました。奇跡のような〇〇の〇〇は、努力? 団結? ハーモニー? 何を入れますか。クラスでよく話し合ってみんなの気持ちを一つに合わせて取り組んでいきましょう。実質3年ぶりの合唱コンクールが本当に楽しみです。全校生徒みんなの力で盛り上げていきましょう。

※裏面には「桃陵中学校 9月行事予定」を載せています。